

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	1-5-3-6
事務事業名 しらさわ夢図書館運営事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	白沢公民館
	一般	01-100506001	細々目名	係等名	社会教育担当
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	5	生涯学習体制の充実と施設の整備充実		
	基本事業名	3	読書活動の推進		

事業概要・実施内容	1.図書館資料(図書・定期刊行物・CD・VT・DVD)等の選定・受入・入力・装備・貸出・返却受付 2.地域・行政資料の収集・保存 3.他館からの相互貸借による資料提供 4.リクエスト受付、予約受付、レファレンスサービス、読書相談受付、情報提供サービスの充実 レファレンスサービス・・・情報をもとめている利用者に対して図書館が提供する援助。単に情報を提供するだけでなく、情報源の提示も行うことも含めた図書館の業務。				
根拠法令等	日本国憲法、社会教育法、図書館法、本宮市図書館条例、本宮市図書館条例施行規則	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	748,019 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	3,091,650 円	12 役務費	36,000 円	18 備品購入費	3,499,837 円
	8 報償費	円	13 委託料	290,264 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	7,665,770 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		市民、在勤者、近隣市町村在住者(二本松市・大玉村)	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	市民生活に必要な情報やビジネス、学習や教養のために必要な資料の選定・収集・提供・保存を行う。図書館サービスの充実により利用者の増加を図る。	活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標
		指標(1) 名称 貸出数 式 今年度貸出件数	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	利用者の様々な学習要求・生活要求に必要な情報を与える。	指標(2) 名称 登録率 式 登録者数/住民基本台帳人口	
		成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標
		指標(1) 名称 リクエスト自館提供率 式 リクエスト自館提供数/リクエスト総数	
		指標(2) 名称 レファレンス自館提供率 式 レファレンス自館提供数/レファレンス提供総数	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 図書館資料やサービスを充実させることによって、市民が暮らしに役立つ情報を得たり、教養を高めることができ、基本目標の「豊かな心と創造性あふれる人材育成」に大いに貢献することができる。また本事業は、この基本目標を達成するための施策である「生涯学習体制の充実と施設の整備充実」そのものであり、施策に合致したものである。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	件			72,285	75,000	
	活動指標(2)	%			37	40	
	成果指標(1)	%			29	35	
	成果指標(2)	%			88	90	
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			7,666	7,388
	事業費計(A)	千円			7,666	7,388	
	人件費	職員数	人			0.2	0.2
人件費平均額(年)		千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			1,675	1,675	
	総事業費(A+B)	千円			9,341	9,063	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
平成9年7月より登録者数・貸出し数が増加。とくに合併した昨年度は対前年度比約20パーセント増の貸出し数。登録者も広域化して市内全域から住民が登録・利用しており、今後も増加の見込み。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
議会や教育委員会や図書館協議会などでの資料費の妥当性について質疑がある。現在、人口一人当たりの資料費は県内市町村図書館の中でも低いレベルである。

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
基本目標を目指し、施策に合致した事業である。	公共性・専門性・市民の教育に携わる機関としての観点から直営は当然。	公共教育機関であるためすべての市民を対象としているのは妥当である。生涯学習の情報提供機関であるため目的は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
資料・サービスを充実させることにより利用層を広げることができる。	資料・情報提供事業は図書館事業の根幹をなすもの。中止・廃止はありえない。	公共図書館として専門性をもった類似事業はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
現在最低限の事業費でおこなっているため、削減の余地はない。		この事業を行う上で、最低の人員数で現在行っている。利用の増加に伴い増加は考えられても削減は考えられない。
		図書館法にて無料の原則が規定

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 図書館事業の根幹をなす事業であり、今後の予算の裏づけ及び資料提供の組織体制がしっかりなされれば発展の可能性が拡大する事業である。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)		(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要 積極的な広報活動を行うことによって市民の認知度が上がり、利用が増加することが可能。また広域化した市民に平等に提供できるようにするための貸出し受付窓口をより多く設定することにより利用の拡大が見込まれる。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 住民の要求にそった資料を提供できる十分な資料費の確保と対応する職員の増加と専門性の向上																								

4. 事務事業の2次評価結果 2次評価対象 2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある		(2) 評価結果の根拠と理由																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)		(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								